

三水会会報

北里大学水産学部
同窓会会報
第 38 号

平成11年10月25日発行

編集者 川添 一郎

発行 三水会（北里大学
水産学部同窓会）

事務局 〒246-0031 神奈川県横浜
市瀬谷区瀬谷5-22-1

☎045-303-3135

振替口座 第一勧業銀行
大手町支店
008-1182388



平成11年度三水会定期総会

- 報告
- 平成10年度決算報告
- 平成11年度予算

OB会だより

- 水産生物化学研究室OB会に参加して
- KU・ランフォート会
- 野村節三先生ご退職記念会および
水産微生物研究室OB会の開催

クラブ活動助成

- 三水会クラブ助成金を戴いて
- 北里大学同窓会課外活動奨励金を受賞

平成11年度関東地区親睦会

事務局

6期生 河村尚之
5期生 水野幸司
5期生 和田一郎

北里大学水産学部ラグビー部
北里大学水産学部体育会“大漁踊り”

事務局

見たい、知りたい、話したい

- ・魚類生理学研究室OB会のお知らせ
- ・研究室OB会窓口
- ①環境生態学研究室OB会
- ②水産微生物研究室OB会

- ③水産生物化学研究室OB会
- ④水産食品化学研究室OB会
- ・OB会設立にともなう特別助成金
- ・編集後記

平成十一年度

三水会定期総会報告

平成11年度、三水会定期総会が5月15日(土)土曜日、午前11時より白金校舎E号館8階会議室において開催された。理事、代議員50名中44名が出席(内、委任状出席者21名)しました。総会では楠本正毅理事(16A)が開会宣言し、議長に田代茂年代議員(2A)を、又、議事録署名人に、西村哲典代議員(3F)と江成良治代議員(7A)を選出しました。続いて、長谷川一敏会長(3A)が「三水会運営に対する役員および会員の協力に感謝する」と挨拶を行ない、今年度もひきつづき、「三水会会報のより一層の充実」「学友会活動への積極的助成」そして「準会員への後援活動」の三つを重要課題とする活動方針を述べた。

その後、伴圭司監事(1A)が監査報告を行いました。議事に入り、町野至企画担当理事(4A)が平成10年度事業報告と平成11年度事業計画の説明を行い、つづいて西尾徹予算担当理事(14F)が平成10年度収支決算と平成11年度予算を説明しました。総会に提出された議案は原案通り承認されました。



今後とも会員から提出されます意見や要望は執行部で慎重に検討してまいります。

総会閉会后、高橋明義理事(5F)水産学部海洋分子生物学研究室勤務に、「三陸、水産学部の現況」と題し、昨今の三陸や大学の様子をスライドを交えて講演して頂きました。今回は特に4月19日に水産学部三陸研究所にて行われました。「橘高二郎先生の日本水産学会賞功績賞受賞を祝う会」にスポーツをあて、橘高先生はじめ祝賀会にご参加されました教職員の方々の懐かしいお顔を拝見させていただきました。総会出席者の方々には大変好評を博し、来年度もつづけて行きたいと考えております。

平成10年度収支決算報告

支 出 の 部			収 入 の 部		
科 目	予算額	決算額	科 目	予算額	決算額
1. 事業費	2,990,000	2,882,316	1. 議会助成金	4,365,000	4,365,000
(1)会報発行費	1,400,000	1,325,911	2. 前年度繰越金	1,198,775	1,198,775
(2)学部だより配布費	240,000	245,700	3. 貯金利息	10,000	15,574
(3)同期会等助成費	200,000	175,000	4. 雑収入	280,000	324,700
(4)親睦会費	500,000	489,894			
(5)大学・学生懇談会費	150,000	81,152			
(6)学友会助成金	200,000	200,000			
(7)就職ガイダンス費	250,000	314,659			
(8)漁船海難遺児育英会寄付	50,000	50,000			
2. 運営費	2,320,000	2,267,041			
(1)印刷・通信費	230,000	261,157			
(2)会議費	570,000	519,058			
(3)総会費	280,000	240,270			
(4)事務局費	1,090,000	1,152,755			
(5)慶弔費	50,000	30,000			
(6)外部金	100,000	63,801			
3. 予備費	543,775	754,692			
(1)次期繰越金					
合 計	5,853,775	5,904,049	合 計	5,853,775	5,904,049

《大学援助特別会計》

学友会助成の体育祭助成金申請がなかったため、本特別会計に50,000円繰入れ。

平成 11 年 度 予 算

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
1. 事業費	2, 890, 000	1. 議会助成金	4, 470, 000
(1)会報発行費	1, 200, 000	2. パーソナルコンピューター 及び周辺機器整備助成金	500, 000
(2)学部だより配布費	240, 000	3. 前年度繰越金	754, 692
(3)同期会等助成費	300, 000	4. 貯金利息	10, 000
(4)親睦会費	500, 000	5. 雑収入	150, 000
(5)大学・学生懇談会費	150, 000		
(6)学友会助成金	200, 000		
(7)就職ガイダンス費	250, 000		
(8)漁船海難遺児育英会寄付	50, 000		
2. 運営費	2, 390, 000		
(1)印刷・通信費	300, 000		
(2)会議費	570, 000		
(3)総会費	280, 000		
(4)事務局費	1, 090, 000		
(5)慶弔費	50, 000		
(6)外部金	100, 000		
3. 予備費	604, 692		
合 計	5, 884, 692	合 計	5, 884, 692

水産生物化学研究室 OB会に参加して

河村 尚之(6期生)

4月24日時折雨足の強くなる足元の悪い土曜日、水産生物化学研究室OB会が白金本館で開催されました。会場には関東を中心に北は北海道、南は広島から卒業生29名が集合、松浦先生、児玉先生、佐藤先生、小瀧先生と現在在職微生物学研究室でご活躍中の緒方先生、なつかしいと言うよりも当日(昭和56年)と殆んどお変わりない先生方のお元氣なお姿を拝見出来、参加者全員感激であったに違いないことでしょう。

先ずは本館教室で松浦先生、児玉先生のお話を聞きながら、今年卒業した24期生までで400人以上の研究室のOBが全国のみならず海外で活躍していることになりました。私の様に初期の人数の少ない時代を知っているものには膨大な数字に思えてなりません。数の倫理ではありませんがいよいよ力がついてきたことではないでしょうか？

続いて、本館食堂での懇親会に移り一期生の中野先輩の音頭で先生方と29名の仲間で乾杯、盛り上がりだつて来たところで誰かの音頭で自己紹介が始まりました。何らかの型で水産業に関係している仕事の方が多かった様に思いま



したが、異業種で頑張っておられる方もいるんだと感じました。とにかく、色んな方面で活躍する同窓生一人ひとりの話を聞いて本当にたくさんの方が松浦先生を始め各先生方のもとから巣立っていったんだと実感した次第でした。

今回は私より若い世代の卒業生が多くのお席でしたが、不思議にも世代の差を感じるよりも、同じ三陸での生活を体験した仲間としての連帯感を強く感じました。

そしてこの場をお借りして皆様への連絡ですが3年後今度は松浦先生の米寿のお祝いをOB一同で是非とも開催したいと考えます。今回より多くの卒業生が集まりたいと存じます。

最後にこの会を企画、開催と骨折に頂いた14期生の西尾徹氏、そして三水会事務局の長谷川会長をはじめとする方々に感謝しこの拙い文面を締めくくらせていただきます。本当に有難うございました。

KU・ランフオート会

水野幸司（5期生）

平成十一年五月十五日、恒例となりましたKU・ランフオート会が竹橋の

レストラン「アラスカ」で開かれました。私個人としては三年振りの参加です。

今回は、三水会のバックアップもあり、総勢四十名の出席を得て、盛大に開催されました。まず、初めにこの場をかりまして開催にご尽力いただいた飯塚信之氏と株式会社アトラスの皆様にご御礼申し上げます。

さて、会場には北里大学を既に退官され、現在、広島にて女子学生を相手に講義を行い尚一層お若くなられた感のある佐藤美和先生、この四月に東北大学食品化学研究室の教授に昇進された佐藤美先生、現研究室からは、長久英三教授、菅野信弘助教授、横山雄彦助手と、そうそうたる顔ぶれが並びました。同窓生では、ランフオート会会長の伊藤氏を始めに今年卒業された二十五期生の新人に至るまで幅広く参加していただきました。

更に、三水会からは、長谷川会長にも出席いただき、二時間余りの楽しい時間を過ごすことができました。

私も卒業してから二十年の歳月が流れ、それなりに忙しい日々を過ごしますあまり、ランフオート会にもなかなか参加できませんでした。久し振りに恩師の方々や友人達と言葉を交わし、昔話に花を咲かせていると、まるで二十年前にタイムスリップした感じです。

製氷機の中にコップを突っ込み、クラッシュアイスで作ったアイスコーヒー、五月の冷たい海での海藻のサンプリング、友人の釣ってきた魚をおろして刺身パーティーなど、数々出てくる思い出話は、三陸の地ならではのエピソードばかりです。又、後輩との会話からは、三陸町の移り変わりや、大学においては女子学生が増えたことなど、何ともうらやましい話を聞きました。

さて、来年は二〇〇〇年という新しい時代を迎え、我がKU・ランフオート会も一層の発展を遂げていってほしいものと心から思います。KU・ランフオート会に乾杯！



野村節三先生で退職記念 会および水産微生物研究 室OB会の開催

和田 一郎 (5期生)

水産微生物研究室教授野村節三先生が平成11年3月末をもって定年退職され、去る6月12日(土)北里大学薬学部(白金)C号館第6講義室にて、発起人河原栄二郎先生、緒方武比古先生、小池一彦助手、佐藤敏行氏(3期)、太田保法氏(3期)、黒沢明氏(10期)、中山統一郎氏(14期)、高橋真規子氏(18期)のご尽力により、盛会に開催されました。

まずは、野村先生のご挨拶の後、教室を暗くしてスライドを見ながら、先生の最後の講義が始まりました。

学生を卒業されて間も無い先生は、今も現存する白金3号館に昭和32年3月より19年間、北里研究所の所員として入所、秦藤樹先生のご指導の元、有用抗生物質を産生する放線菌の研究に従事、ウシ流行性感冒ウイルスワクチンやヒトインフルエンザウイルスワクチンの製造、試験にも携わりました。

その後、北里大学衛生学部、薬学部にて微生物化学、微生物薬品化学を教え、北里衛生センターにおいては、抗生物質の残留分析や各種食品添加物の試験

を行い、その間抗腫瘍性、抗細菌性、抗真菌性抗生物質の研究では、現在世界各国で試薬として使われているセルレニンが脂肪酸とステロールの生合成を特異的に阻害することが判り、意義深いものとなりました。

その後、昭和51年9月より三陸へ助教として赴任され、水産学部では第9番目の水産微生物学講座を開設、同研究室より326名の卒業生を世に送り出されました。

教室では、暗闇の中、約60名の元学生たちが私語をすることもなく少々強めの空調に震えながらも、先生の口より発せられる(魚類せつそう病菌)(サルモジン)(綿せん)(培養)(培



地)等20年前に体験した、なつかしい用語の数々に当時は思い出しながら、聞き入っておりしました。また、3期から24期までの各々の代の学生達とのキャンフ、つり、コンパのスライドを見て、個々の学生の名を一人も漏れることなく告げられたのには、驚きました。

約2時間の最後の講義が終わり会場を本館(白金)に移し、中庭にて記念撮影ホールにて研究室OB

会を兼ねての、記念パーティーとなりました。OB会の面々(元学生)は、旧知の親友達と話し込む者、数々の先輩や後輩と名刺交換をする者、すしを頬張る者、そのにぎやかな人々の中には赤ちゃん連れの若夫婦を数組ありました。また先生の奥様が詩吟(寒梅)を披露されるなど和やかな雰囲気の中に会は進みました。

さらにこの席上にて、三水会より大きな花束が奥様に、先生には、OB会より、オリンパス光学(株)製CH30-20型生物顕微鏡が記念品として贈られました。

二次会は、品川プリンスホテルのビアガーデンにて、さらにテンションを上げる

こととなりました。先生は24期の元学生と大ビールの一気飲みをするなど、ご健在ぶりを発揮されました。
なを、先生は現在も三陸にて、名誉教授として活動されるだけではなく、自に造られた特性ラボにて、地元の方々の協力を得ながら、更なる夢の実現を目指していらっしやいます。

収 支 計 算 書

単位: 円

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 野村先生寸志	20,000	1. 講演会費	70,169
2. 会費収入	779,000	2. 交通・宿泊費	93,875
3. 三水会助成金	30,000	3. パーティー費	238,495
		4. 記念品代	
		野村先生	291,559
		研究室	20,700
		5. 写真代	43,995
		6. 通信費	14,810
合 計	829,000	合 計	773,603

収支決算 829,000円-773,603円=55,397円

残金は、三陸でのOB会開催に備え、OB会事務局にて管理保管させて頂きます。

平成11年度関東地区親睦会

平成11年度関東地区親睦会が7月24日、千葉県九十九里浜にて地曳網を行いました。晴天に恵まれ、多数の会員とご家族の皆様に参加して戴き有り難うございました。事務局



北里大学水産学部

ラグビー部

この度は、奨励金を頂き有難うございました。奨励金は、東北ラグビー協会への参加・加盟費用として、また、通常の部費では揃えられなかった練習用具の購入費用として使わせて頂きました。

今、ラグビーは全国的に選手の人口が減少しており、休部や廃部になる高校や大学が増えていきます。我々水産学部ラグビー部もその影響を受けており、新入部員の数は年々減少して、そのため本来なら引退するはずの4年生にも練習や試合へ参加して頂いています。また、実習や研究室のために、部員が全員練習へ参加することが出来ないなど、我々をとりまく環境は厳しいものです。しかし、このような練習時間や地理的環境・部員数などのハンデキャップにもかかわらず、一昨年、我々水産学部ラグビー部は東北リーグ戦3部において、優勝という成績を残すことが出来ました。その時代の先輩に負

けないように、我々も、忙しい中にもかかわらず、協力して頂いている4年生と、ラグビー部を選んで入部してくれた2年生と3年生が一体となり、厳しい練習を続け、先輩でさえ成し遂げられなかった2部昇格を目指し努力して行きたいと思っています。

魚類生理学研究室OBの皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。皆様方には卒業以来、魚類生理学研究室卒業生としての交流・親睦の機会が有りませんでしたがこの度、三水会からの後援もあり下記の通りOB会を開催致したくご案内申し上げます。



北里大学同窓会 課外活動奨励金を受賞

北里大学水産学部体育会『大漁踊り』

水産学部体育会『大漁踊り』が北里大学同窓会課外活動奨励団体として、平成11年度北里大学同窓会定期総会（5月15日）にて、表彰されました。

詳細は、北里大学同窓会報47号7頁に掲載されておりますので、ご覧下さい。

見たい・知りたい・話したい

◆ 魚類生理学研究室OB会開催のお知らせ ◆

魚類生理学研究室OBの皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。皆様方には卒業以来、魚類生理学研究室卒業生としての交流・親睦の機会が有りませんでしたがこの度、三水会からの後援もあり次ページの通りOB会を開催致したくご案内申し上げます。

なお、当日は山森先生をはじめ先生方も多数出席いただけるようお願い致しております。お誘い合わせの上、是非ともご参加下さい。

有志代表 田代 茂年（2A）
垣内 省吾（9A）

- 日時：平成11年11月13日（土） 午後3時より
 場所：白金校舎 北里本館
 費：10,000円
 （家族同伴の場合でも同額）
 内容：午後3時～4時（2F大会議室）
 先生方から近況報告
 午後4時30分～（1F学生食堂）
 懇親会

申込み先：郵送又はFAXで11月7日までに下記へお申込み下さい。

〒246-0031

横浜市瀬谷区瀬谷5-22-1 石井美華

TEL・FAX 045-303-3135

◆ 研究室OB会窓口 ◆

1. 環境生態学研究室OB会（平成10年5月設立）
 （連絡先）〒158-0098 東京都世田谷区上用賀4-36RB-107
 高橋 利明（4期） TEL 03-3439-9220
2. 水産微生物学研究室OB会（平成10年11月設立）
 （連絡先）〒955-0033 新潟県三条市西大崎3-11-45-2
 佐藤 敏行（3期） TEL 0256-38-3227
3. 水産生物化学研究室OB会（平成11年4月設立）
 （連絡先）〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘1-12-42
 逸見 司（11期） TEL 045-901-2094
4. 水産食品化学研究室OB会（平成11年5月設立）
 （連絡先）〒120-0014 東京都足立区西綾瀬2-10-7
 飯塚 信之（6期） TEL 03-3887-5563

◆ OB会設立にともなう特別助成金 ◆

上記OB会は『OB会設立にともなう特別助成金』の交付を受け発足しました。
 その他の研究室につきましても特別助成金の交付を受ける事が出来ますので有志の方がおりましたら三水会事務局まで連絡をお願い致します。

三水会事務局：〒246-0031

横浜市瀬谷区瀬谷5-22-1 石井方

TEL・FAX 045-303-3135

編集後記

本年も台風による災害に遭われました会員の皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。本号では、“大漁踊り”が北里大学同窓会課外活動奨励団体として表彰されましたことから、写真を表紙に使わせて戴きました。次回号から、“大漁踊り今昔物語”を歴代OBの皆様に書いて戴きたいと存じます。自薦・他薦、ふるってご参加下さい。